

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	草木染による地域づくり事業	
事業主体 (連絡先)	信濃大町草木染め研究会 (大町市大町 3302 NPO 地域づくり工房)	
事業区分	オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興	
事業タイプ	(3) 教育、文化の振興に関する事業	
総事業費	576,567 円 (うち支援金 :	420,000 円)

事業内容

講習会 : 内容、講師は以下の通り

展示方法と商品へのアドバイス、渡邊充子氏
和紙と花びら染めのコラボ、腰原修一氏
和紙への草木染と工芸品製作、高橋誠一郎氏・腰原修一氏

展示販売会

中山高原、創舎わちがい、松崎和紙工業、白馬村多目的研修施設、松崎和紙工業にて開催した。

草木染体験指導 (場所)

アヤメ花びら、玉ねぎ染講習 (中綱基幹センター)
マリーゴールド染講習 (しらかば保育園)
地域の花材で和紙を染める (NPO 地域づくり工房)
玉ねぎ染講習 (八坂中学校)
マリーゴールド染講習 (大町北小学校)
マリーゴールド染講習 (大町西小学校)
地域の素材でストールを染める (白馬村多目的研修施設)

事業効果

シニア層の力を活かし、ここにしかない「いろあい」を発信することにより、経済的効果、誘客、活性化につながった。

地元の伝統工芸である松崎和紙とのコラボによる木崎湖灯籠流しの灯籠、紙すき体験により、はがきや草木染め&工芸品製作と、特産品づくりのための研究も重ねた。

講習会、体験学習、展示会などを通して活動の周知、ひとや技術の交流ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

色、人、技術など、地域にある資源との出会いを生かし、子どもからシニアまで、誰もが集えるカフェや広場などのスペース作りをしてゆきたい。誘客や仕事おこしにつなげる。地域の歴史に学び、染め技術向上、消費者ニーズに合う商品づくりのため、研鑽を重ね特産品づくりを進める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【和紙への草木染め&工芸品作り】

【目標・ねらい】

- ① 染色技術の向上
- ② 消費者ニーズに合う商品作り
- ③ 地域資源を生かした特産品作り
- ④ シニアから子どもが集えるカフェなど誘客、活性化につなげる

※自己評価 【A】

【理由】

課題はあるが、3年間の活動により
目途が立った。